



億単位のユーザー数を誇る巨大ソーシャルメディアの出現

世界を席巻するフェイスブック

フェイスブックが世界中の注目を集めています。CEOのマーク・ザッカーバーグが米TIME誌で毎年恒例の「Person of the Year 2010」に選出されるとともに、米求人サイトのグラスドアの調査では、フェイスブックが米国の大手企業の中で最も働きやすい会社に選ばれました。ザッカーバーグを描いた映画「ソーシャル・ネットワーク」は2010年の最高傑作との呼び声も高く、アカデミー賞を正確に占うことで知られるゴールデン・グローブ賞において、最優秀作品賞を含む4部門で受賞しています。フェイスブックがマイスペースを一気に抜き去ったのは2008年春ですが、それ以来毎月約2000万人のペースでアクティブユーザーを増加させ、月

● 世界のフェイスブックユーザー数

全世界フェイスブックユーザー数

610,736,840

TOP5カ国

1	アメリカ	148,216,200
2	インドネシア	34,319,040
3	イギリス	27,917,760
4	タイ	25,127,700
5	フィリピン	21,759,280

出典：Socialbakers

次アクティブユーザー数は6億人以上です。中国、インドに次ぐ世界第3の大国ともいわれるとおり、多くの人々が日常的にアクセスする対話プラットフォームになりました。フェイスブックアプリも日々2000本以上がリリースされており、他の追隨を許していません。インターネットユーザーのうち7割以上にフェイスブックが普及している米国ですら、その人口普及率は全世界で19位。SNSとして、世界131カ国中110カ国でトップシェアを獲得しています。



グーグルをも脅かす巨大プラットフォーム

プラットフォームという視点で考えても、フェイスブックはグーグルを脅かす存在へと進化してきています。事実、トラフィックもページビューも、多くのサイトにおいてフェイスブックがグーグルを上回っています。

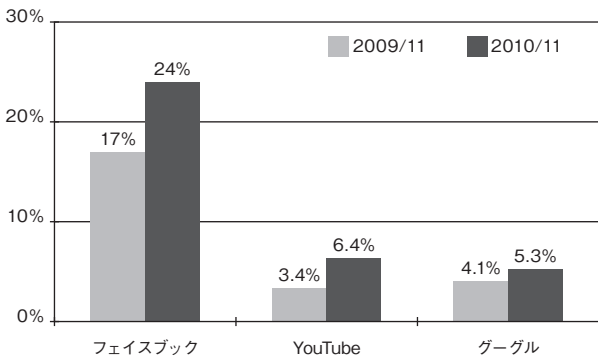
フェイスブックの売上高は2010年で20億ドルと、現時点でインターネットの覇者であるグーグルには遠く及びません。しかし、5年後もグーグルがその地位を保っていると

は、誰も保証できないでしょう。

2010年秋にグーグルとフェイスブックの「ソーシャルグラフ囲い込み戦争」として、Gmailとフェイスブックにおけるデータ相互互換性の問題が話題をさらったのは記憶に新しいところです。対グーグルを意識したフェイスブックは10億人への普及に強い自信を示していますし、将来的には電話やメールに変わる「世界のコミュニケーション・インフラ」としてのポジションを目指しています。フェイスブックのプラットフォームとしての影響力は増す一方です。

今の世の中はまさに「情報過多」の時代です。グーグルの使命は「世界中の情

● 米国インターネット・ページビュー占有率



出典：HitWise

フェイスブックは、あらゆる指標で Google を上回った

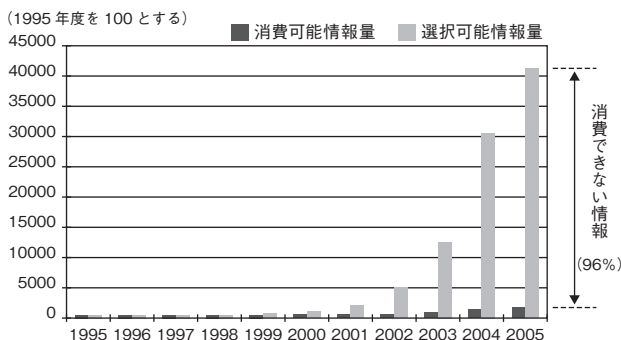


報を整理し、世界中の人々がアクセスして使えるようにすること」ですが、情報過多の時代には、「本当に価値のある情報だけを見つけれられる」ということが大きな意味を持ちます。そしてフェイスブックは「最も信頼できる情報を友人が届けてくれる」という秀逸なシステムを持っているのです。

フェイスブックの「いいね!」ボタンと「シェア」ボタンは、どちらも共通の機能を担っています。それは「インターネットから有益な情報を抽出するフィルター」だということです。インターネットという広大な情報の海から、あなたにとつて有益な情報を探し出してきてくれます。そして、このような機能を持つフェイスブックをビジネスに活用す

● 消費可能情報量と選択可能情報量

生活者は、消費できない情報過多に苦しんでいる



出典：総務省 情報流通センサス報告書 2007 年 3 月

るための基本となるもの、それがフェイスブックのビジネス用ページ「ファンページ」です。(2011年2月に「ファンページ」は「フェイスブックページ」に名称変更されましたが、本書では「ファンページ」で表記を統一しています。)

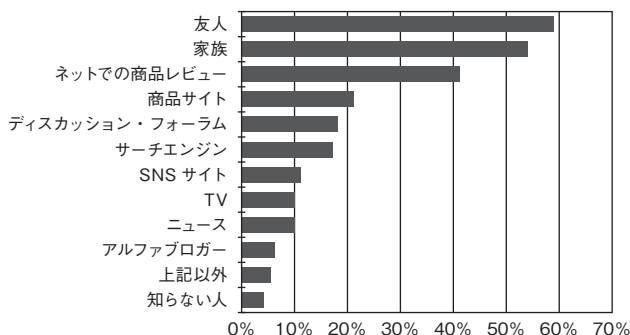


6億人にアクセス可能な フリーツール、ファンページ

誰もが無料で第二のホームページとして使うことができるファンページの活用は、フェイスブックのビジネス活用の成否を分ける大切な要素です。米国では「企業の

● 商品やサービスを購入検討する時、最も信頼している情報源

信頼できる情報は「信頼できる友人や家族」から



出典：Nielsen 2010 年 4 月

ホームページがなくても、フェイスブックのファンページがあれば問題ない」という声も多くあがっているほどファンページを活用した企業活動は一般的になっています。たしかに、ホームページで提供されてきたほとんどことはファンページでもできるようになっていますし、6億人いるフェイスブックユーザーにアクセス可能なプラットフォームとなつていくという事実は、非常に魅力的です。

「自社のファンページに多くのファンを集め、活気あるコミュニティとして運営することによってブランドを認知させ、好感度を上げる」というプロセスの重要性は、フェイスブックのユーザー数拡大に伴い、高まっています。そんなファンページ活用の先進事

● フェイスブックファンページ

企業や有名人が運営する フェイスブック上の公式コミュニティ



ファンページは米国の企業やアーティストにとって重要なメディアになった